

プレスリリース

平成12年10月23日

「第16回農協系統の事業・組織に関する検討会の開催」について

本日、農林水産省第1特別会議室において標記会議が開催されましたので、説明資料を配付します。

連絡・問い合わせ先  
経済局農業協同組合課  
TEL：03-3502-8111(代)  
奥原(内線2670)  
出田(内線2691)  
直通：03-3501-3728

## 生産資材コストの低減について

全国農業協同組合連合会

### 1. 広域集中システムの構築 (別表1)

- 平成14年度を目途に、ブロック域にモデル的な位置付けで「物流情報センター(受発注・物流情報等の機能を具備)」の設置・稼働をすすめる。
- 平成16年度を目途に、物流情報センター機能に請求精算事務処理集中機能等を加味した「全国事務集中センター(全国域 原則1箇所)」の設置・稼働をすすめる。

### 2. 農家配送拠点の整備

- 全国事務集中センターに対応し、効率的な農家配送拠点の整備をすすめる(全国300箇所程度を想定)。
- 実態調査にもとづく県別マスタープランを作成し(平成13年度)、毎年30箇所程度を目標に整備をすすめる。

### 3. 規模別・機能別価格体系の明示

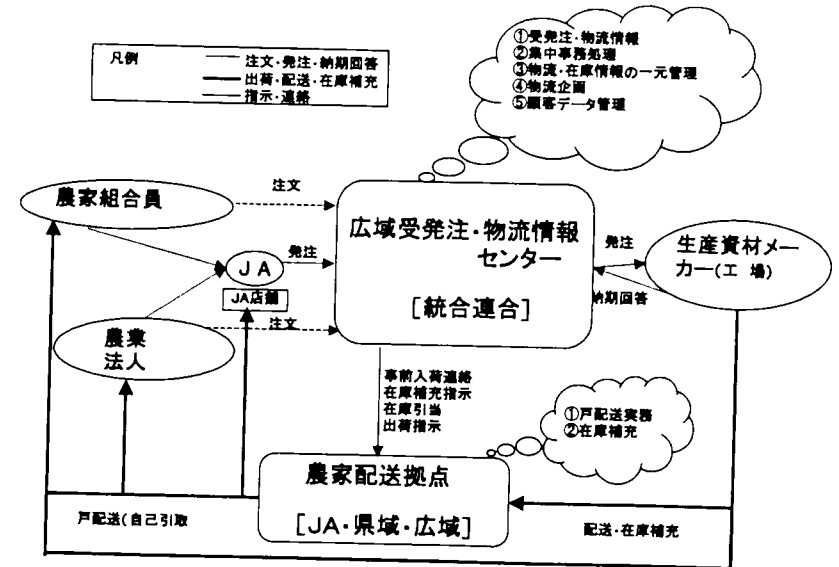
- 利用量・利用形態等取扱い条件をふまえた価格体系・奨励措置体系等の見直しをすすめるとともに、JA段階での実践を図る。
- 全国事務集中センターの稼働に対応した(業務・物流改革)新たな価格体系の明示をすすめる(平成17年度目途)

### 4. 生産資材コスト削減目標 (別表2)

平成17年度を目途に、低コスト資材を重点品目とし、これにJAグループ全体を通じた業務・物流改革(広域供給システム)によるコスト低減方策、大口対策等を積み上げ価格引き下げ目標を設定する。

別表1

○広域集中方式による業務・物流システム概念図 [生産資材事業の場合]



別表2

生産資材 対象重点品目別価格引き下げ目標

重点品目	実現方策	引下げ目標	目標到達時期
肥料	①. 低コスト肥料(アラジン・BB肥料・中国粒状ヨウリン等)の拡大	10%	平成17年度
	②. 大口対策(ロットや配送形態も加味)	5%	
農薬	①. 低コスト農薬等の拡大 ・低コスト農薬(MY-100混合剤、水稲一発処理除草剤等)の拡大 ・海外原体メーカー直接購買(ラウンドアップハイロード等) ・特許切れ農薬(ジェイエース)の拡大	10%	同上
	②. 大口対策(ロットや配送形態も加味)	5%	
青果物用段ボール	①. 低コスト段ボール(低コスト原紙の導入・茶色箱化)の拡大	6~9%	同上
	②. 大口対策(大口JA段ボール事業強化対策)	1~4%	

<広域供給システムによるコスト削減>

内容	引下げ目標	目標到達時期
全国事務集中センター・物流情報センターおよびJA段階における農家配送拠点の整備等をつうじた業務・物流コストの低減(品目により流通形態・JAグループの機能が異なるため、詳細については現在検討中)。	概ね 2%~5%	平成17年度